



税理士 西 康子 会員 旭川支部

「お客様の繁栄と従業員の幸福追求!」を目指して

税理士となった経緯

30年ほど前のことです。東京の大学に行く決めていましたが、高校遊遊生活を送って大学受験に出遅れ、東京の大学ではなく予備校に行きました。予備校の女子寮で、自分は税理士になるため経済学部に行くと言っていた受験生がいて、そのときに商売をしていた実家に来ていた税理士さんを思い出したんです。

実家の商売は、肉牛の飼料を製造加工していた工場、自宅と事務所が廊下でつながっているような小さな会社でした。母は家事を終えて夜になると事務所に行き、ひとり暗い照明のなかで帳簿をながめながらメモをしていました。後でそのメモを見ると、数字が並び、返済とか支払などの言葉がありました。「資金繰り」を夜中にしていたのですね。父は、ゴルフとお酒とロータリークラブが大好きな二代目のお気楽社長でした。夕方になると鏡をみながらポマードをつけ直して(髪をセットして)、「仕事も遊び。遊びも仕事」と言っは、毎日のように旭川の歓楽街へ嬉しそうに出かけて行きました。最初は専業主婦だった母も父には会社をまかせられないと、4人の子供を育てながら母が日々の会社の切り盛りをしていました。父母は基本的には仲良しでしたが、母は時折、父に噴火するんです(怒るんです)。その母の噴火の言葉の中

に、「会社がどんなことになっているのか、Hさん(当時の会計事務所職員さんの名前)に聞いてみて!」というのがありまして、子供心に、会計事務所というのは信頼されている重要なポジションにあるんだなとずっと思っていました。そうした経験から、予備校時代に税理士という職業を聞いたとき、「私の仕事はこれだ!」と思ったんですね。この仕事なら、苦労している母を助けられるかもしれないと思いました。この税理士という職業を受験浪人中に聞いて、英語科志望だったのを、進路変更しまして経営学部に入學し、大学2年生からは大学に通いながら税理士の某受験予備校に通い始めました。

同業者の夫とは小学校・中学校・高校と同じ学校で、29歳で結婚しました。「付き合ってた?」と同級生にはよく聞かれるのですが、28歳までは単なる同級生という「くくり」でした。お互い東京の大学に行っからは、東京に出てきていた高校の同級生7・8人で新宿などの安い居酒屋でたまに遊んでいたメンバーのひとりでした。しかし、ある日、税理士の受験予備校でバツリ会い、お互い同じ資格を目指していることを知りました。どういう経緯で結婚することになったのか、今となってはあまり詳しく覚えていないのですが(笑)。ただ職業が一緒ということで話が合いましたし、笑いのツボみたいなのも一緒に、一緒にいて楽しいんですね。ノロケですか?(笑)。というわけで、夫と結婚して今年で20年になり、子供がいない

私たち夫婦はいつまでも面白い友達のままのような感じです。

TKCとの関わり

私が旭川で開業したころTKCの旭川センターがで、当時の旭川センター長だった吉田正さんが足しげく「何かお手伝いすることがあれば」と通ってくれました。決して強引ではなく、見守ってくださるような姿が優しくて心にしみり、TKCに入会させていただきました。入会後まもなく旭川支部の会計を数年させていただいた後、現在は副支部長という立場を仰せつっておりますが、他のお二人の副支部長に助けをもらいながら、なんとか努めています。昨年は入会15年の表彰状もいただきました。

関与先様との関わり

独立した28歳当時は、自分の父親のような年齢の社長とお話しをすることに緊張しました。たたき上げの創業社長は怖かったですね。「税金なんか払いたくない。安くするのが税理士の仕事だろ」みたいな社長もいて、おっかないというか、きつかったですね。ですが近頃ではそういうコワモテ社長にもズケズケとモノを言えるようになって、逆に嫌がられているかもしれません(笑)。そういう社長に鍛えていただき強くなれたんだと思います。

最近では相続を専門にやっていますので、亡くなった方のご家族関係を目の当たりにし、大変重い仕事ですが、最初は堅かったお客様も申告書を提出する



最終段階には笑顔がみられ、充実感のある仕事だと感じています。失意の中にある相続人様への思いやりを大切にするよう意識をし仕事をしています。

事務所の経営方針

開業当初はプライベートの方をより大切にしていた、仕事はそこそこで、のんびり楽しく暮らせたならそれでいいと思っていました。今は、「事務所職員にいい待遇を!お客様にはいいサービスを!」と思いながら頑張っているつもりですが、困難は多いです。でも難しいから面白いんでしょうね。

事務所の経営方針は、以下に書いたものです。毎朝全員で唱和して、職員が持ち回りでこれに関する実践報告のスピーチをします。その後、全員で事務所掃除をして一日がスタートします。



掃除スプーン

経営理念

お客様の繁栄と従業員の幸福を追求し、社会の発展に貢献します。

【お客様へのお約束】

1. 思いやりの気持ちをもって誠実に対応し、お客様の立場に立ったサービスを提供するよう心がけます。

2. 社会正義に反するご相談には応じません。

3. 専門家としての自己研鑽に努めます。

【従業員との約束】

1. 何事も素直に受け止め、すべてのことを前向きに考えます。

2. 他の人に対して、思いやり、誠実さ、謙虚さをもって対応します。

3. 他の方の話を良く聴くよう意識します。

4. 「お客様へのお約束」を守ります。

5. 難しいことをやさしくお伝えするよう心がけます。

6. 業務の効率化を意識します。

7. これらを実現するための職場環境をつくります。

今後について

同級生の夫とは共同経営者という感覚でこれまで事務所の運営をしてきましたが、これからは夫のサポート役にまわり、経営理念に沿って努力していきたいと思っています。

自身のことをいえば、仕事も大切にしたいと思っていますが、この歳になって 身近で大切な人、例えば夫や親族、友人と過ごす時間を増やしたいと思うようになりました。歳を重ねることはいいことですね。ストレス耐性ができるし、大切なことに気づけるようになります。でも最近かなり「おばさん体質」になっていることには気を付けなくてはと思います。ついこの前、札幌駅で切符を買おうとしたら体の大きな若い男の人にすごい怖い顔でにらまれて、「並んでるんだよね」と言われました。周りが見えずに列に横入りをしようとしていたんですね…。

父のように「仕事も遊び、遊びも仕事」という感覚になれたいいなと思う今日この頃です。

(旭川支部 舟橋 馨)